



ワムタウン広場

WAM Town Open Space !

発行 ワムタウンネットワーク推進協議会
〒359-1152 埼玉県所沢市大字久米532番地1
TEL 04-2997-5510 FAX 04-2992-5544
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会
医療法人社団紫雲会

3月

第88号 2015年/平成27年3月1日(日)

WAM TOWN

入職の挨拶

医療法人啓仁会 吉祥寺南病院 (東京都武蔵野市)
内科部長 宮城 学



本年1月付けで吉祥寺南病院に入職いたしました宮城学(みやぎまなぶ)と申します。このたび私を迎え入れて頂いた病院に対してお礼をするとともに、大変嬉しく思っています。

平成元年に東京医科大学病院を卒業後、同大学病院および関連病院で23年間、循環器内科医として従事してきました。その後、一般病院に3年間一般内科として勤務してまいりましたが、専門の循環器はもとよりオールラウンダーとしての総合内科医の知識不足を実感させられました。そのような経験の中で、高齢循環器内科や末期心疾患の緩和ケアに興味持つようになりました。人間らしく生きる医療を目標として診療していく次第と考えております。

まだまだ、人間的にも未熟で、勉学も途中段階ではありますが、病院に貢献させて頂ければと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

豆まきを行いました



医療法人啓仁会 介護老人保健施設 三鷹ロイヤルの丘 (東京都三鷹市)



1月も瞬く間に過ぎ、2月に入った三鷹ロイヤルの丘では、2月2日に節分のイベントを行いました。職員が鬼になり、利用者様が豆代わりの新聞紙のボールを思いつきり鬼に投げます。イベントが行われる前から新聞紙を丸めてボールを作り、当日に備えました。鬼は職員が行いましたが、センスを駆使し、面白い親しみのある鬼になりました。まずは4階フロア、3階フロア、2階フロアと順番に施設を回り鬼が登場すると、笑顔がみられ、力いっぱい鬼にボールを投げつけていました。

年に一度の節分の豆まき、楽しんで頂けたのではないのでしょうか。



節分は邪気を払い、今年の福を招く行事です。利用者の皆様も福を呼び込み、いつまでも健康で幸せでいて頂けたらと思います。

リハビリ室 月井 麻美

100歳お誕生日会

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 いつもの杜 (静岡県伊東市)

1月23日、100歳になられた斎藤美代子様のお祝いの会を通所ご利用の方々と一緒に行いました。綺麗に飾り付けた車いすに乗っていただき、大きな拍手とお祝いの歓声のなか、手作りアーチをくぐっての入場です。利用者の方々からお祝いの言葉をいただき、目を細め嬉しそうに微笑んでいる美代子様のご様子を見て胸がジーンと熱くなったのは私だけでしょうか?施設から100年前の生まれた日の新聞と、寄せ書きの色紙をプレゼントさせていただきました。

皆さんと食べたケーキの味は、また格別美味しかったです。杖でしっかりとした足取り

で歩かれ、お話が大好きでいつも笑顔の美代子様周りには、自然とお喋り友達が集まってきました。これからもますますお元気でいつもの杜に通っていただきたいです。

通所看護職員 吉尾 祐美





AED (自動体外式除細動器) を用いた心肺蘇生法

医療法人啓仁会 吉祥寺南病院 (東京都武蔵野市) 内科部長 宮城 学

救急医療の現況

消防庁の資料によると心肺停止で搬送される傷病者は年々増加傾向にあり、平成25年は123987人/年に上っています。そのなかでも循環器系疾患は突然死の原因の多くを占めますが、(図1) 特に心原性的心肺停止(急性心筋梗塞・致死性不整脈など) 例は75397件/年で8年前の1.3倍にも増加しています。このような心肺停止傷病者を救命し、社会復帰させるために必要な一連の行為を『救命の連鎖』と呼んでいます。(図2) 連鎖を構成する4つの輪のうち最初の3つを市民が早期に発動し、医療従事者に引き継いでいくことが重要となります。

現在、救急隊の現場到着の平均所要時間は平成10年では6分であったのが、平

成25年では8.5分と年々延びています。心肺停止してから救急隊が到着するまで何もなされなければ救命率は急激に低下しますが、居合わせた市民が救命処置を行うことで救命率が2倍程度になることがわかっています。(図3) 実際の市民による救命処置実施率は44.3%へ増加(平成6年度は13.4%)していますが、さらなる質の高い心肺蘇生の実施が期待されます。

心停止の心電図波形と AED

心停止とは有効な心拍がなく脈拍が触知できない状態ですが、図4のような4つの心電図波形があります。心室細動と無脈性心室頻拍は電気ショックにて治療を行います。心静止と無脈性電気活動を

については電気ショックの適応はありません。AEDは自動的にこれらの心電図波形を解析し、電気ショックが必要かどうかを判断します。

心原性的心停止では心室細動が生じることが多く、早期に電気ショックにて通常の脈拍に戻すことが傷病者の救命につながります。

市民が早期にAEDを用いた電気ショックによる傷病者の社会復帰率は、救急隊が到着して電気ショックを施行した社会復帰率より高いことが判っています。(図5) 市民によるAED施行がより重要であることを示しています。

現在、AEDは様々な機種があり(図6)、44万台が国内に設置されていますが、多くは公共施設などであり市民が使用しやすい環境となっています。(図7) ↗



図1

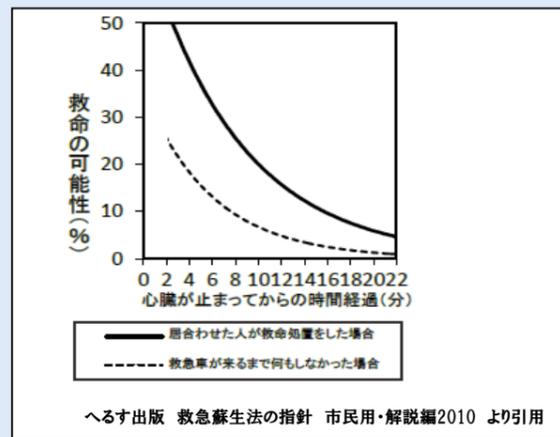


図3

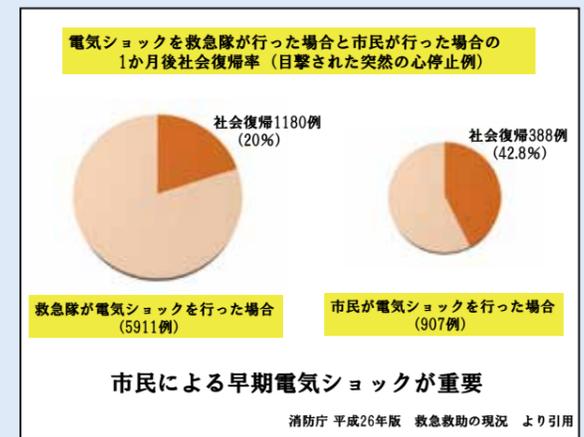


図5



図2

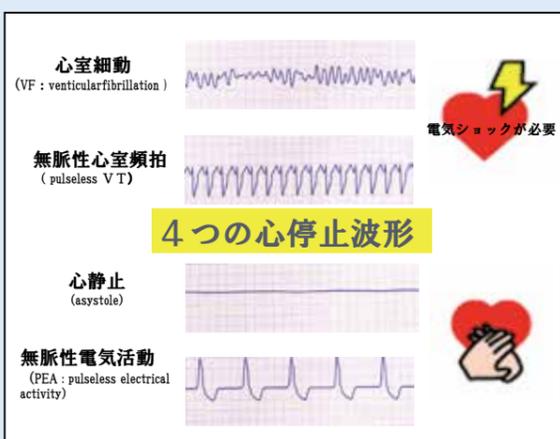


図4



図6

● 羊の起き上がり小法師 ● 医療法人啓仁会 介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘 (埼玉県所沢市)

今年の干支である「ひつじの起き上がり小法師」を作りました。ひつじの顔も、リアルな顔やかわいい顔、人間みたいな顔とさまざまです。

小法師を横に寝かしても、すぐ起き上がる小法師もいれば、起き上がることがとても苦手な小法師もいます(笑)

新年を迎えるにふさわしいたくさんのひつじが、デイケアの入り口を飾ってくれました。

デイケア主任 山科 宏之



図7

市民が行う一次救命処置の手順(図8)

ポイント

1 反応をみる 倒れている傷病者を発見した場合は安全を確認したのち、肩をたたきながら呼びかけをします。応答や目的のある仕草がなければ意識なしと判断します。その後、応援を要請し、119番通報とAEDの手配を依頼します。

2 呼吸をみる 呼吸を観察する際には、胸と腹部の動きをみます。動きがなければ呼吸なしとして、反応および呼吸なしで心停止と判断します。しばしば、心停止後に死戦期呼吸と呼ばれる、しゃくりあげるような呼吸(図9)を認めますが、これを普段どおりの呼吸と判断してはいけません。

3 CPR(胸骨圧迫および人工呼吸による心肺蘇生) 心停止と判断したら胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始します。(図10)ポイントは強く・速く・絶え間なく・しっかりと圧迫を解除します。胸骨圧迫を30回続けたら、その後気道を確保して人工呼吸2回を行います。(図11)この組み合わせを絶え間なく続けます。人工呼吸をためられる場合は人工呼吸を省略して、胸骨圧迫のみを続けてください。また、質の高い胸骨圧迫を維持するために、複数の救助者がいる場合は互いの手技を確認し、疲れてきたら役割を交代します。

4 AED AEDが到着したらすぐに準備を開始します。電源をいれると音声メッセージが流れるため、これに従って操作をします。
「ショックが必要です」→充電を完了し、ショックボタンを押します
「ショックは不要です」→ショックの適応ではないため胸骨圧迫を再開します

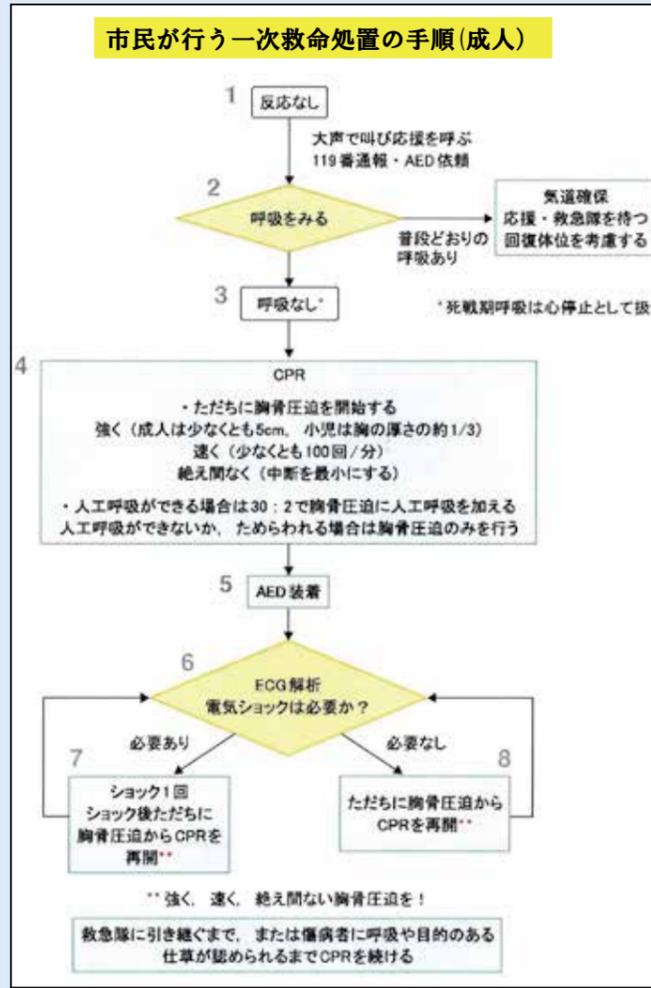


図8

死戦期呼吸
心停止に時折認められる、しゃくりあげるような不規則な呼吸(激しく泣いたあとの子供のような不規則呼吸)
●動物実験では心停止時にほぼ100%出現
●人間では40%に死戦期呼吸が出現
●心停止後、約4分ほど継続することもある

心停止のサイン
(普段通りの呼吸ではない)
“心肺蘇生の開始が不可欠”

図9

胸骨圧迫のポイント

位置: 胸の真ん中(胸骨の下半分)

手の置き方: 胸の真ん中に手のひらの基部を置き、もう一方の手を重ねておく(もしくは指を組む)

深さ: 少なくとも5cm沈む程度
速さ: 少なくとも1分間に100回のテンポで確実に圧迫解除(元の位置にもどるように)

姿勢: 真上から垂直に、手首と肘を伸ばして

図10

気道確保・人工呼吸のポイント

頭部後屈あご先挙上法による気道確保
傷病者の顔を片手で抑えながら、もう一方の指先をあごの先端に当てて持ち上げます

口対口人工呼吸
気道確保したまま、傷病者の口を覆って、鼻をつまみつつ息を吹きこみます
息は傷病者の胸が軽く膨らむ程度の量を約1秒かけて吹きこみます。これを2回繰り返します。

京都市市民防災センターホームページより引用

図11

AEDの使用手順

AEDは届き次第、すぐ使用準備する
音声メッセージに従って操作してください
①まず電源を入れる(ボタン押すタイプとふたを開けると自動的に電源が入るタイプがある)
②電極パッドを取り出し、貼り付ける(イラストに従って、2枚のパッド貼り付けます)
③心電図の解析: 誰も傷病者に触れていないことを確認してください
④電気ショック指示が出たら、自動的に充電が開始されるので、再度誰も触れていないことを確認します。点灯しているショックボタンを押して、電気ショックを行います。

図12

5 電気ショックの後は、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します

6 救急隊が到着するまでCPRとAEDの手順を繰り返します

都内各消防署では心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当など、応急手当を習得

して頂けるよう、救命講習を開催しています。大切な人を、家族を、命を守るため、救命講習を受講して知識と技術を学びましょう。

当院でも今後、心肺蘇生法の講習を開催したいと考えております。その際は皆さん、受講していただけたら幸いです。

第20回埼玉県介護老人保健施設大会に参加しました

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 平成の森(埼玉県川島町)

2月5日、大宮ソニックシティで開催された第20回埼玉県介護老人保健施設大会に参加しました。当日は雪混じりの雨が降り、とても寒い日でしたが、県内の施設から多くの人に参加していました。

当施設からは毎年行なっている日帰りバスツアーについて発表させていただきました。利用者さんのバスの乗り降りや排泄、食事など不安な点がありましたが、色々な職種の職員と意見交換を行って解消しバスツアーの実施に至りました。その結果、普段施設ではあまり見られない利用者さんの笑顔をたくさん見ることが

できました。このバスツアーを行って多職種によるチームワークの重要性と介護のすばらしさ、奥深さを学ぶことができました。

今回そのことを会場の皆さんに紹介したいと思って発表しました。他の施設の方々から、参加者の募り方や旅先でアクシデントは無かったかなどの質問をいただき興味を持ってもらえたようです。

利用者さんやご家族が毎年楽しみにされているので、今後もこのバスツアーを継続させていきたいと思っております。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス始めました

社会福祉法人栄光会 **ライフアシスト** **ロイヤルの園** (埼玉県所沢市)

平成26年12月1日に所沢市の地域密着型サービスとして、定期巡回・随時対応型訪問介護サービス「ライフアシスト ロイヤルの園」を開設しました。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは「重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行う平成24年4月に新しく創設されたサービス」です。

1 定期巡回・随時対応型サービス 料金

(通所系サービスを利用した場合・1日あたり)

要介護1	6,989円	-153円
要介護2	11,652円	-254円
要介護3	18,652円	-406円
要介護4	23,315円	-507円
要介護5	27,978円	-608円

※月額定額制となります。月途中の利用開始、中止については日割り計算となります。
 ※短期入所系サービスを利用の場合は、日数に応じて日割り計算となります。

2 他サービスの利用

①併用できないサービス

- ・訪問介護 ・訪問看護
- ・夜間対応型訪問介護

②通所系サービス、短期入所系サービス時の日割り計算

- ・通所系サービス利用時には、1日分の単価の2/3相当額を日割り減算する。
- ・短期入所系サービス利用時には、短期入所系サービスの利用日数に応じた日割り計算を行う。

③医療保険の訪問看護利用時

- ・当該期間については、介護のみ利用者の単位数を算定する。

3 サービス計画について

- ①定期巡回・随時対応型サービスにおいては、移動効率向上の必要性も踏まえつつ
 - ・一日複数回の訪問により利用者の日々の心身の状況の把握が可能であること
 - ・把握した利用者の心身の状況に応じて柔軟にサービスを変更することが必要であるから、ケアプランに位置付けられたサービス提供日時にかかわらず、計画作成責任者がケアプランの内容や利用者の状況を踏まえ、サービス提供日時を決定することを可能とする。
- ②この場合、当該計画については、適宜、ケアマネージャーに報告することとする。なお、すべての利用者に係る計画について、看護職員の定期的なアセスメントを踏まえ作成することとし、訪問看護サービス利用者に係る計画の作成に当たっては常勤の保健師又は看護師から必要な協力を得るものとする。

4 地域との連携について

- ①介護・医療連携推進会議の定期的な開催
- ②サービスの自己評価・外部評価の内容について公表を義務付け
- ③介護相談員制度の活用

5 訪問看護事業所との連携について

- 連携型事業所については、利用者に対する訪問看護を提供する訪問看護事業所と連携し、連携する訪問看護事業所との契約により、以下の事項について必要な協力を得る。
- ①利用者に対するアセスメント
 - ②随時対応サービスの提供に当たっての連絡体制の確保
 - ③介護・医療連携推進会議への参加
 - ④その他必要な指導及び助言



見守り支援システム
(通報をキャッチするとパッドランプが作動します)



見守り歩数計「Mi-LOOK」
(ヒモを引くだけでオペレーターへつながります)



タブレット、モバイルプリンター
(サービス内容を入力し、その場でプリントアウトします)

まだまだ、始まったばかりのサービスです。利用してみたい。話だけでも聞きたい。など何でも結構です。下記まで、ご連絡ください。親切丁寧に説明いたします。

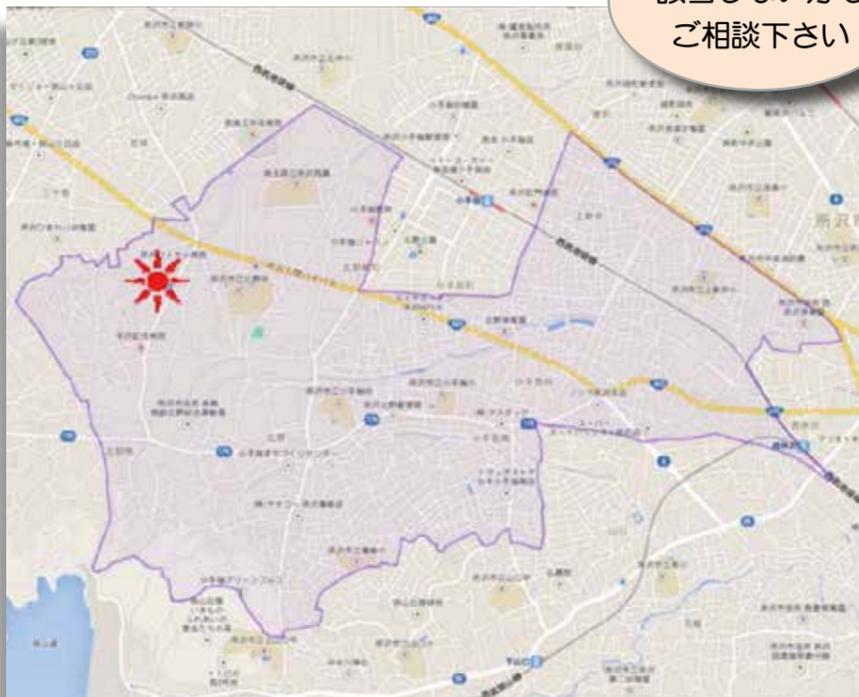
(電話) 04-2937-3300
(担当) 鹿野 香

ライフアシストのご提案

～3つの安心をご自宅に～

介護が必要になっても
住み慣れた家庭で
できる限り生活ができるようお手伝いする
24時間の介護保険サービス
ひとり暮らしの高齢者の方にも
安心をお届けします

この地域に
該当しない方も
ご相談下さい



ライフアシスト(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

- ◆訪問介護と訪問看護の事業所が連携してお手伝いします。
- ◆対象の方：要介護1～5の方
- ◆ご利用まで：担当のケアマネージャーにご相談いただくか当事業所にお問い合わせください。
- ◆3つの安心(月の定額となります)
 - ①1日複数回の定期的な訪問
従来の訪問介護や訪問看護に加え、1回の訪問の内容が安否確認、健康チェック、見守りのみであってもご利用いただけるサービスです。
 - ②いつでもつながる安心通報用の大きなボタンがついている機器で、事業所のオペレーターと、24時間いつでも通話できます。
 - ③状況に応じて24時間対応
オペレーターの判断で、随時に訪問します。

